

HOW TO

顧客ニーズに合わせてパーソナライズされたサービスを迅速かつ継続的に提供するには



成長に向けて(はじめに)



現在の競争の激しい市場においては、高品質な製品を製造するにあたり、より迅速に、より効率的に、そしてより顧客にフォーカスした方法で行う必要があります。製品自体の複雑性や、よりパーソナライズされた製品に対する顧客の期待が高まる一方でマージンは減少しているため、製造業者はアジリティ(俊敏性)を向上させ、意思決定を改善し、より少ないリソースでより多くを成し遂げなければなりません。

イノベーションサイクルとサプライチェーン・ネットワーク全体の可視性とコラボレーションは、成功の基盤となります。モノのインターネット(IoT)、人工知能、ロボット工学などを活用し、顧客や製品、製造工場のフィードバックを結びつけ、効率性を最大化させることが製造業者に求められています。

優秀な製造業者はいつ／どこで／どのようにして生産高を調整するべきかを常に見極めており、データドリブン且つ実用的なインサイトを駆使して的確で迅速な意思決定を行うのです。また、こうした製造業者はAIや機械学習を活用して起こりうる混乱にあらかじめ先手を打ち、優れたレジリエンス(回復力)を手に入れています。

統合された単一のプラットフォームがあれば、製造業者は顧客のニーズをよりの確に把握し、そしてより迅速にデザイン・製造・提供へと移れるのです。その結果、品質水準の凌駕、ダウンタイムの最小化、利用率の上昇、コストのかかる廃棄やリメイクの減少といったメリットが生じます。

ご存じですか？

「25年以上もレガシーシステムで事業運営をしていたため、プロセス上の非効率性をたくさん抱えていた。これらの課題に対処して競争でのリードを確実に保っていくためには、最新のシステムの導入が極めて重要だった。Oracle Cloud の導入によって、効率性を向上させ、サプライチェーンへのエンド・ツー・エンドな可視性を手に入れることができた。その結果として製造業務が合理化され、工場で実用的なインサイトを得ることができ、効率性・柔軟性・スピードの向上に繋がった。」

—Ameer Ali 氏,
Precision Group 社 IT アプリケーションおよびインフラマネージャ

Deloitte 社が発表した 2021 年における製造業界の見通し(英語)によると¹

- 自社のサプライネットワークの可視性と、ソーシング・製造・流通を迅速且つ柔軟に行う能力に自信を示している調査回答者はわずか 21% のみです
- 経営幹部の 44% が、地域モデルへより意識を向けてサプライチェーンの再構築を行うことを考えています
- 経営幹部の 61% が、今後数年間のうちに製造・非製造の両プロセスに向けたハイブリッドモデルを開発することを考えています



¹Deloitte 社が発表した 2021 年における製造業界の見通し

以下のシナリオに該当するものがあるか、確かめてみてください

- ① 需要状況や絶えず変化する顧客、市場、チャンネルに合わせてパーソナライズされたサービスを開発できますか？
- ② 企業資産および製造現場全体で、絶えず変化するキャパシティと需要に迅速に対応できますか？
- ③ 製造を合理化し、組織成長のチャンスを実効的にサポートできますか？
- ④ 革新的アイデアを新規および既存の製品へ迅速に組み込むことができますか？
- ⑤ ソーシング・製造・流通に際し、エスカレーションを避けることができますか？
- ⑥ 従業員およびサプライネットワーク全体と、場所を問わずに連携・連絡をスムーズに行うことができますか？

優れた製造業者になるためのポイントとは？



変化への迅速な適応

優れた製造業者は可視性とリアルタイム且つ実用的なインサイトを駆使し、製造現場のパフォーマンスとアジリティ(俊敏性)を高めています。

顧客を満足させる

顧客の要望に対し、然るべきタイミング・然るべき水準を以て正確に応えることができます。

バリューチェーン全体での連携

シームレスに統合された単一のソリューションによって常に連結性を保ち、プロジェクトのプロセス・可視性・分析・実行においてリモートワーカーや委託業者、サプライヤと共有ができています。

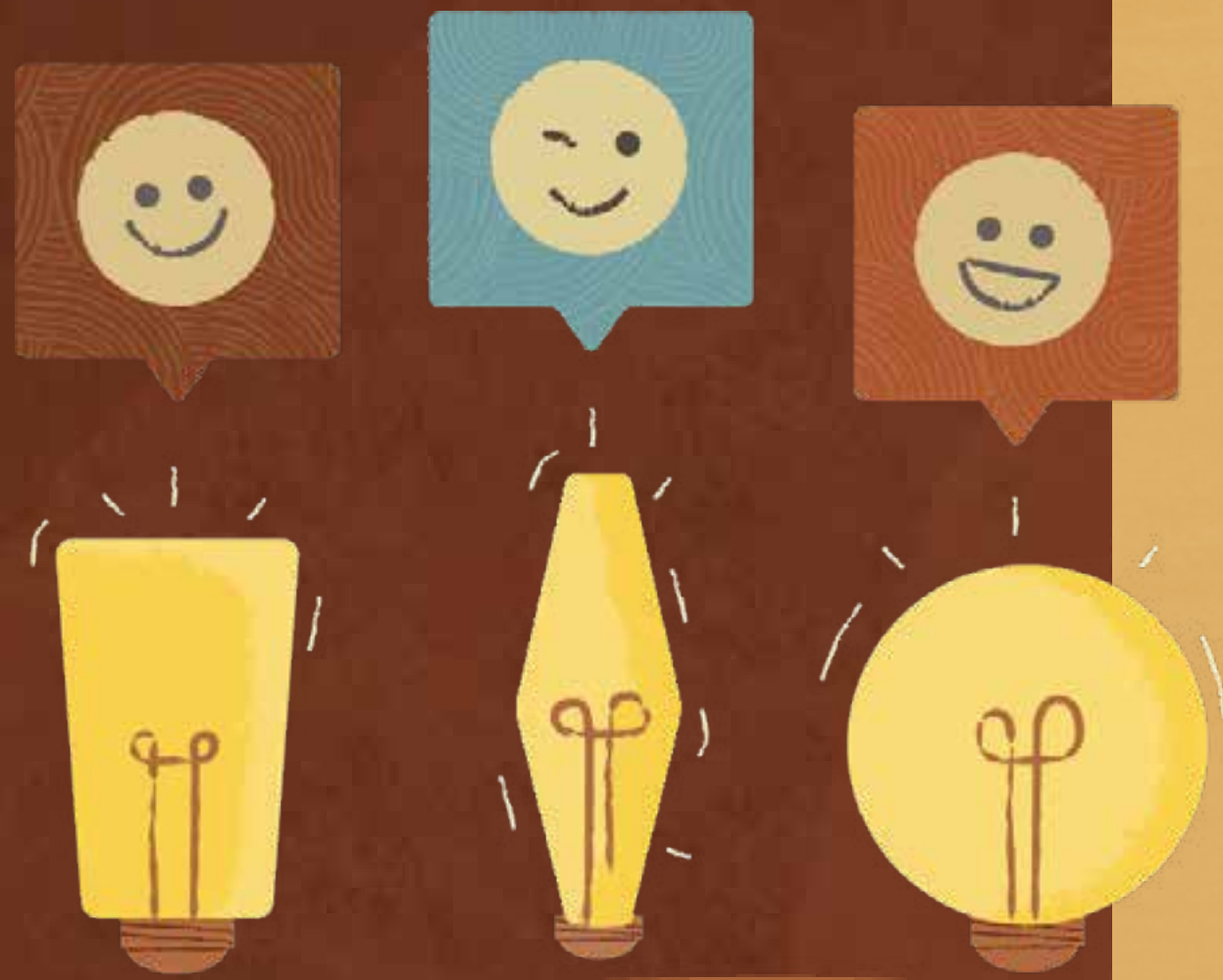
Oracleでできること

- ✓ IoT, AI, 機械学習を活用した**インテリジェントで最適化且つ統合されたソリューションを提供**します。それにより、製造現場における業務の簡略化、意思決定の最適化、品質およびコストの管理をサポートできます。
- ✓ すべての製造現場を見渡せるようなソリューションを駆使し、**品質向上とコスト削減を促進**させます。そして、より優れたコスト・品質管理を実現させるのです。
- ✓ **連携性のある環境を実現**します。その鍵となるのは、リモートワーカーや施設、オンサイトワーカー、拡張先も含めたサプライネットワーク全体、そして顧客とのコミュニケーションを促進するソリューションです。

「Oracle Cloud によって継続的にイノベーションを実現する力を得た。そして、IoT などの新テクノロジーを活用できるようになり、市場で優位に立つことが可能になった。」

—Jeff Blattner 氏
Titan 社 IT 責任者

パーソナライズされたサービスを生むためのステップ



顧客の期待に応え、製造面での効率性を高めましょう。そのために必要となるのは、統合された製造プランニングとその実行力、そして変化へ迅速に適応できる製造プロセスです。

迅速で尚且つ情報にもとづいた意思決定を下し、リスクを減らしましょう。その鍵となるのは、エンド・ツー・エンドの製造プロセスをリアルタイムであらゆるデバイスから確認できるような、連結性のある視点です。

重要なプロセスを自動化し、AI、機械学習、IoTなどのテクノロジーを活用して潜在的な問題に先手を打ちましょう。そのうえで欠かせないのが、覚えやすさと使いやすさに優れ、業務の最適化とコスト削減にも効果的なソリューションです。

パーソナライズされたサービスを生み、顧客のニーズへ迅速且つ継続的に応える方法について、詳しく知りたい方は [Unlock Continuous Innovation \(継続的なイノベーションの実現\)](#) をご覧ください。

[詳しくはこちら](#)

Copyright © 2021, Oracle and/or its affiliates.本記事は情報提供のみを目的として作成されたものであり、記載されている内容は予告なしに変更される場合があります。本記事は、明示的か黙示的かを問わず、誤りがないことを保証するものではなく、黙示的な商品性の保証および条件あるいは特定の目的への適合性を含む、如何なる保証および条件の対象となるものではありません。弊社は、本記事に関連する如何なる責任も明確に否認します。また、本記事によって、直接的あるいは間接的に弊社へ契約上の義務が発生することはありません。弊社の書面による事前の許可なしに、如何なる目的であれ、電子的であろうと機械的であろうと、形式・手段を問わず本記事を複製または転載することを禁止します。Oracle および Java は、Oracle とその関連会社の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標です。